

平成29年5月23日（火）



洛風だより・ほかほか通信 ～保護者のみなさまへ～

京都市立洛風中学校 No. 2

けなげ 健気にがんばっています！！



今洛風の子どもたちの姿をみていると、「健気（けなげ）」といふ言葉が浮かんできます。「健気」は「子どもなど、力の弱いものが勇敢に困難な状況に立ち向かう様子」を表す言葉です。

例えば、3年生が「学習確認プログラム」にチャレンジしている姿です。昼休みも、数学や国語の問題に友達と一緒に取り組んでいたり、先生に質問していました。これまで休んでいた生徒にとっては、難しくわからないことが多いと思います。それでも、最後まであきらめずに問題に取り組んでいる姿は、本当に健気で、すごいなと思いました。1、2年生も授業に真剣に取り組んでいます。また、6月にある「わくわくドキドキオリエンテーション合宿」の係活動やゴミ〇〇の日に向けてもがんばって取組を始めています。

家ではゆっくり過ごす、充電が必要です

とはいっても、子どもたちは、学校では相当気を張って生活しているのも事実です。特に転入学してきた生徒には慣れないことも多いと思います。つい家では、ぐったりしたり、怒りっぽかったりしてしまうこともよく耳にします。お家の方も戸惑われることも多いと思いますが、家でうまく甘えられることも大事なことです。十分に充電させてやってください。

転入生の保護者懇談も始まっています。気がかりなことがありましたら、遠慮なくウイング担当までお伝えください。それぞれの生徒が、自分のペースをつかんでいくまで、焦らずに共に見守っていきましょう！よろしくお願いします。

バウンス・バック…失敗を取り返す！！

バウンス・バックとは、ゴルフなどの用語です。ゴルフや野球などスポーツの中では、注意していてもミスや失敗があるのが当然なのです。プロ野球でもこれまで1シーズンを通して4割を打った選手はいません。どんな名選手もミスをしない人はいません。体操やフィギュアスケートも完璧な演技の影には、練習での多くの失敗があるものです。失敗の後に気持ちを切り替えたり、どう取り返すかが大事です。

大切なことは、周りが支え、励まし、失敗の後に「次こそ、がんばってみよう」と思えるようなかかわりや環境ではないでしょうか。



お知らせ 新たにスタッフが増えました。

お知らせが遅くなりましたが、5月8日付で、松濤亮達先生が着任しました。保健体育及びウイング1を担当いたしますので、よろしくお願いします。

*明日、5月24日水曜日 15:30～「カウンセラーを囲む会～思春期・子育て・学び合い～」

今年度第1回目の「カウンセラーを囲む会～思春期・子育て・学び合い～」です